

# 美甘山焼き復活プロジェクト



4月21日に行われた山焼きの様子



山菜御前



山菜の収穫体験

5月19日、美甘ドーム裏手の旧放牧地で、自然の恵み「山菜」に焦点をあてた「資源活用モニターツアー」が開催され、市内外から32人が参加しました。このイベントは企業版ふるさと納税を活用した「山焼き復活プロジェクト」の一環で、山菜の収穫や料理などを体験するものです。参加者は4月に山焼きが行われた大地に芽吹いたワラビやフキなどを収穫し、アク抜き体験や料理講習の後、昼食に山菜御膳を楽しむなど、自然の恵みを満喫しました。

## 4小学校の取り組みを継続 ホテルで環境を学ぶ

5月7日、今春誕生した北房小学校で、4年生38名を対象に環境学習「ホテルから考える環境保全」が、21日に「水辺の教室」が行われました。北房ホテルの文化推進継承の会と北房ホテル保存会の会員を講師に迎え、ホテルの生態や地域での取り組みなどについて学習し、ホテル保護のためカワニナを採取し、放流しました。今後地域のホテルマップを完成させ、6月16日に開催される『2018ほたるサミット in 真庭』で発表します。



備中川に放流するカワニナを用水路で採取



三船会長の話を聞くまにわ縁結び推進委員

## まにわ縁結び推進委員会 結婚を応援します

5月2日、まにわ縁結び推進委員の委嘱式が行われ、新任8人を含む24人の委員が委嘱されました。任期は2年間で、結婚を地域全体で応援する社会意識づくりや、結婚相談などが主な役割です。委嘱式後には委員会も開かれ、役員の選出や、今年度の目標設定、意見交換などが行われました。会長に選ばれた三船昌行さんは、自身の経験も交えながら「結婚のきっかけづくりを進めていきましよう。」と挨拶をしました。



市政に関する動きの一部を紹介します

## 5/20 日頃の鍛え試すとき

第65回岡山県消防操法訓練大会に久世方面隊操法チームと、勝山方面隊第1分団第7部、美甘方面隊第2分団第4部が出場し、久世方面隊が5位入賞しました。これで真庭市消防団は6年連続入賞となりました。



## 5/21 真庭の教育のために

徳山周一さんが真庭市教育委員会委員に就任し、任命辞令交付式が行われました。教育現場で「郷育」を推進し地域に開かれた学校作りを行ってきた経験が、今後の教育行政に生かされます。任期は4年間です。



市長室から  
**こんにちは!**

### 野菜作りをして思うこと

父親が遺してくれた畑（一部は荒地になっていますが）で、野菜を栽培しています。早朝とか、休日での仕事の合間とか、細切れの時間を使いながら。時には妻と一緒に。

3月にじゃがいも（メイクイーン、男爵、キタアカリ）を、5月の連休末にやっとなとトマト、キュウリ、ナス、ピーマン、カボチャを植えました。

玉ねぎは、自分で植える時間がなかったので、育苗をしている友人に600本植えてもらいました。さすがプロ。冬季に枯れる苗がほとんどなく、私や嫁が植えるのと違うなと成長を楽しみにしていました。ところが久しぶりに畑を見ると、茶色くなった葉がかなりあるのです。ショック！「べと病」の発生ですが、時すでに遅いです。

玉ねぎに限らず、父親から畑を受け継いだ頃は野菜って案外簡単に良い物ができると喜んでいましたが、次第に出来が悪くなってきました。その要因は、日頃の手入れが不十分なことに加え、土づくりをしていないからだと思っています。野菜作りと人づくりは共通しています。丁寧さと基礎をつくることの重要性を痛感しているこの頃です。

お父さん、お母さん、子どもがたくましくすくすくと成長できるように、「生きる力」を身に付けるように、基礎体力、基礎学力、そして人間力を育てる丁寧な子育てをしてください。しかも二度とない機会だと楽しみながら。真庭市も全力を挙げて応援します。



地域課題について、意見交換が行われました

### 地域おこし協力隊 地域課題を議会と議論

5月9日、市役所4階の議会委員会で、市外から移住し地域で活躍している真庭市地域おこし協力隊10人と元協力隊3人が、市議会総務常任委員会所属委員8人と意見交換を行いました。隊員からは移住して感じた真庭市の印象や、協力隊の活動を通じて経験した地域課題とその解決の糸口について、また、協力隊の活動を経て地域内で起業した3人からは市の起業支援制度などについて意見が出されました。



レターパックに現金を入れないように

### 消費生活センター出前講座 詐欺にご用心

5月19日、久世公民館で、真庭市ボランティア連絡協議会の研修として「消費生活センター出前講座」が開催されました。「最近では振り込み詐欺に加え、架空請求のはがきを送りつける、プリペイドカードを購入させる、現金をレターパックなどで送らせるといった手口の詐欺も増えている」と講師の井原消費生活相談員が説明。真庭市消費生活センターでは、要請があれば、市内各地のサロンや集会所などでも出前講座を開催しています。